

連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

2018.8 vol.148

平成30年度

国立病院機構

鹿児島医療センター

初期臨床研修説明会

平成30年7月6日(金)ソラリア西鉄ホテル鹿児島7階ホールにおいて、平成30年度鹿児島医療センター初期臨床研修説明会を開催致しました。当日は鹿児島大学を中心に32名の医学生に参加いただき、当院の研修医、医師、事務部門併せ82名と会場がほぼ満杯となりました。説明会では、田中院長による開会の挨拶、続いて1年目研修医 水田善之先生と2年目研修医 池田良太先生による自身の経験を元にした当院・協力病院での初期研修の紹介、私から初期臨床研修プログラム「城山」の包括的かつ改変点を踏まえた説明、乾杯後懇親会の際には、動画やスライドを使用して各診療科の紹介を当該医師より行って頂き、松崎統括診療部長の締め挨拶により盛会裏に終了いたしました。今回の説明会は、鹿児島大学医学生の皆さんに当院での初期臨床研修について身近に知っていただける好機となり、平成30年度のフルマッチの継承につながる説明会となりました。



鹿児島医療センター臨床研修管理委員会では、研修医会議、指導医会議、臨床研修管理委員会を主にあらゆるイベントを通じて、研修医からのヒアリングを行う一方自助努力を求め、初期臨床研修プログラム「城山」の問題点・改善点を分析し、研修医の皆さんに対しては充実した2年間の研修生活を、鹿児島の行政・大学、医師会各位に対しては医療の整備拡充を、当院に対しては安定成長をコミットするために鋭意努力しております。

今回の説明会開催にあたりご協力いただきました研修医、医師、事務部門の皆さまに感謝申し上げます。

協力研修病院、協力研修施設、当院の関係各位には研修医教育への日常のご配慮に感謝申し上げますとともに、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

(文責：臨床研修管理委員会プログラム責任者 菰方 輝夫)



平成30年度

楽しく学ぶ基礎看護技術講座

口腔ケア



平成30年7月7日、催涙雨が激しく降る悪天候の中、「平成30年度楽しく学ぶ基礎看護技術講座：口腔ケア」を開催致しました。

今研修は、厚生労働省委託事業として鹿児島県内各地域の医療施設の新人看護師を対象とし、看護に必要な基本的知識・技術を身につけ、患者に応じた看護実践ができることを目的としています。鹿児島県内から14施設、院内外合わせて80名の新人看護師が参加し、講義や演習を通して、口腔ケアの基本となる知識・技術を学ぶことができました。

この研修は、「口腔ケアは日常の大切なケアのひとつ」その意義と重要性を理解し、短時間で効果的なケアの技術が習得できることを目的としています。企画にあたって、当院の教育委員、口腔ケア委員の協力のもと、医師・副看護師長・歯科衛生士・看護師メンバーが講義や演習のタスクを担当し、文字通り"楽しく学ぶ"研修にしようと企画しました。

参加した研修生は最初、口を大きく開けてお互いにケアをすることに多少照れや羞恥心があり、遠慮がちにケアを実施していました。使用した器具がなかなか装着できなかつたり、人の歯を磨くことがいかに難しいかも実感しました。しかし、段々とケアのコツをつかむと真剣な表情で向かい合い、ぎこちなさの中もしっかりと技術を習得しようという姿がとても印象的でした。

また、ケアされる患者の立場を体験することで「遠慮したり、躊躇している手技は、患者にとってあまり心地よいものではない」ということを感じている研修生もいました。口腔ケアがもたらす効果は、患者の口腔内の清潔だけでなく、全身状態の改善に役立ち、観察することやケアの大切さを学んだことで、看護現場での実践に活かしていきたいという意欲がうかがえました。

この研修を通してつながった新人看護師同士の絆が深まる事と、さらに"楽しく学ぶ"研修になっていけるよう、今後も充実した研修の企画を考えていきたいと思えます。

今研修の開催にあたりご協力いただいた皆様に感謝致しますと共に、看護実践の場で活かされることを、七夕の星に願いたいと思いました。

(文責：教育担当看護師長 松本 深雪)



平成30年度 鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校

第1回 オープンキャンパスを終えて**学校紹介**

平成30年7月15日に高校生・社会人を対象にしたオープンキャンパスを開催いたしました。日差しが強い中、203名の方々が参加されました。

学校紹介では、教員が本校のカリキュラムや卒業後の進路、今年度の入学試験の説明を行い、本校の2年生が学校生活の紹介をしました。参加者は配布されているパンフレットや資料を見ながら、熱心に説明を聞かれていました。

**看護技術体験**

看護技術体験では、「診療の補助」と「療養上の世話」という看護師の業務内容を視点に、点滴の滴下調整、血圧測定、心音・呼吸音聴取、ベッドメイキングを実際に参加者に体験してもらいました。普段日常では体験することのできない、看護学校ならではの体験ができたと思います。参加者も初めての体験に、目を輝かせていました。

教材展示コーナー

本校の講義・演習で使用する教材を6つのブースに分けて展示し、在校生が説明を行いました。洗髪車や救急セットに心電図モニター、未熟児の人形の入った未熟児保育器、エンジェルセットなど今年度は特に多くの教材を展示し、実際に参加者にも触れてもらいました。参加者からは、「体の中ってこうなってるんだ。」「未熟児ってこんなに軽いんだ。」といった声が聞かれました。

**学生交流会**

始めのうちは緊張し、表情が強張っていた参加者も、交流会では在校生と和気あいあいと会話している様子が見られました。在校生は、基礎看護学実習を終えたばかりで、実習中での学びや楽しさを伝えることができました。オープンキャンパスを通して、参加者だけでなく、在校生にとっても有意義となる時間を過ごすことができました。

(文責：実行委員 2年生 未永 沙弥香)



鹿児島医療センター

第1回 地域緩和ケア連携研修会開催報告



がん対策推進基本計画では、切れ目ないがん医療ケアの提供とその質の向上が求められています。当院では、地域の医療や介護に従事する皆様と、がんに関する医療提供体制や社会的支援のあり方、緩和ケア、緊急時の体制について情報を共有し、役割分担等を議論する場を設けるべく、地域緩和ケア連携研修会を開催致しました。

平成30年7月13日(金)に開催した第1回研修会では、佐世保市総合医療センター緩和ケア科の富安志郎先生を講師にお招きし「地域の中でがん治療病院が果たす役割～人生の最終段階のQOLを上げるために～」という演題でお話いただきました。

- ① 病院スタッフは、がん治療の終了後は患者さんを地域にお返しする、という視点を持ち、多職種と連携し、希望の療養場所への移行を支援する
- ② 移行支援にあたっては、患者さん本人の意向にしたがって治療の終了を伝え、療養の移行の希望を聴取する
- ③ 緩和ケアチームは地域の終末期に関するリソースと日頃から連携・情報共有し、患者さんに情報提供することが重要であるという3点が大切であることを学びました。また、質の高い終末期ケアのための地域ネットワークづくりも重要であるとお話いただきました。

今回の研修には、地域の先生方、看護師、ケアマネージャー、MSW等100名程の皆様に参加していただきました。講演後は、日常業務の中での困りごと等を多職種でディスカッションし活発な意見交換をすることができました。今後も、地域の多職種の皆様と緩和ケアにおけるネットワークづくりを深めて参りたいと考えております。

第2回研修会は9月27日(木)在宅支援の立場からの講演を計画しております。多くの皆様の参加を心よりお待ちしております。
(文責：緩和ケアチーム MSW 水元 玲子)

新任紹介



外科
本高 浩徐

7月2日付けで鹿児島市立病院より当院外科へ赴任してきました本高浩徐(もとかひろゆき)です。14年ほど前にもお世話になっており、当時は心臓血管外科と外科に従事していましたが、今回は消化器外科医として戻って参りました。当院の特色上、心疾患などを合併している患者さんが多く標準治療を一律に行えないため、みなさんのお力添えを頂きながら、それぞれの患者さんにあった最良の治療が行えればと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



麻酔科
佐藤 朋世

初めまして。7月より勤務させていただくこととなりました、麻酔科の佐藤朋世と申します。鹿児島大学卒業、鹿児島市立病院での初期研修を経て、昨年鹿児島大学麻酔科に入局し、今回が初めての異動となりました。まだ右も左も分らず、ご迷惑をお掛けすることばかりで大変申し訳ない毎日ですが、周りのスタッフの皆様のおかげで何とか日々を過ごさせていただき感謝しております。若輩者ですが、毎日少しでも多くのことを学び、患者様や周囲の方々へ少しでも早く還元出来るように頑張りたいと思っておりますので、何卒ご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



脳神経外科
石神 崇

7月より脳神経外科で勤務させて頂いております、石神崇と申します。鶴丸城の御濠の蓮の花が見頃ですが、5年3か月振りにもう一度当院で仕事ができる幸運に感謝致します。実はかなり以前にも当院での勤務経験があるのですが、病院もその頃とは比較にならない程に機能的となり、着実に発展を遂げているように感じます。ここに至るまでには並々ならぬ苦労があったことと思います。本当に頭が下がる思いです。何かと御迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思っております。宜しくお願い致します。



心臓血管外科
荒田 憲一

7月から心臓血管外科で勤務することとなりました。15年前にもお世話になり、2回目の赴任です。前任は大学病院で血管外科を専門とし診療して参りました。はやく慣れ、医療センターの戦力になりたいと思っております。不慣れな点も多々あると思っておりますが、御指導の程、宜しくお願い致します。



麻酔科
櫻井 絵里

2018年7月より麻酔科で勤務致しております。2015年に鹿児島大学病院麻酔科に入局して以来、初めて関連病院に参りました。不慣れな点が多くご迷惑をおかけすると思っておりますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

■お問い合わせ先 独立行政法人 国立病院機構 鹿児島医療センター (心臓病・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号
(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <http://www.kagomc.jp>

【地域連携】 蘭田・丹後田・田上・吉永・迫田・中田・椎原・吉留・櫻木・田辺・山之内・前田

【がん相談】 松崎・森・水元・原田・久保・杉本・児玉

フリーダイヤルFAX専用▶0120(334)476

※休日・時間外は当直者で対応します。

